

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況及び効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業の概要	事業開始 年月	事業完了 年月	総事業費	新型コロナウイルス感染症対 応地方創生臨時交付金充当額	実施状況	効果検証
1	地域経済活性化キャンペーン事業	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少している市内中小事業者の支援策として、キャッシュレス決済を活用した地域経済活性化キャンペーン事業を実施し、市内中小事業者の売上向上とキャッシュレス決済の普及促進に取り組むもの。	R3.4	R4.3	276,130,798	21,351,000	令和3年度内に2回実施したキャンペーンの決済金額の合計は1,398,009,058円で、キャンペーン実施前と比べ平均して約4倍となった。	キャンペーン実施により、キャッシュレス決済による消費喚起を後押しし、コロナ禍で売上が減少している中小事業者の売上向上とキャッシュレス決済の普及を促進することができた。
2	中小事業者事業継続支援事業	市内中小事業者を対象に、間仕切り板や消毒液の購入、テイクアウト事業の開始など、新型コロナウイルス感染症の影響により着手した取組に令和3年4月～令和4年2月にかけて要した経費に対して支援金を支給することで、事業の継続を支援するもの。	R3.9	R4.3	106,936,124	106,936,124	1,226事業者に、新型コロナウイルス感染症の影響により着手した取組に要した経費と同額(3～20万円)の支援金を支給した。	感染症による影響が長期化し、市内中小事業者の売上が戻らないなか、恒常的に生じている感染症対策の経費や売上確保のための新たな取組に対し支援を行うことで、事業の継続及び経営の下支えを行うことができた。
3	新型コロナウイルス感染症対策事業	市立小中学校の教室に二酸化炭素濃度測定器を導入することで、教室における感染の発生を防止するもの。	R3.9	R3.12	5,258,000	5,258,000	学校における感染症対策として、換気の目安とするための二酸化炭素濃度測定器を全校全教室に整備した。	二酸化炭素濃度の数値を教室内で見えるようにすることで、換気を促すことに繋がり、感染対策を講じることができた。
4	商店街支援事業	市内商店街等が組織的に行う、感染拡大防止ガイドラインに沿った取組や感染対策用物品等の購入に対して補助を行うことで、安心して買い物できる環境づくりと感染拡大防止に資するもの。	R3.4	R4.1	7,252,000	272,876	市内35の商店街(会)のうち、感染拡大防止ガイドラインに沿った取組や物品等の購入を行った19の商店街(会)に対し、補助金を交付した。	商店街(会)が組織的に取り組む、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策(マスクや消毒液等の購入費)に対して補助金を支給し、安心してお客様にお越しいただける環境整備と、事業の継続及び経営の下支えを行うことができた。
5	地域経済活性化キャンペーン事業(No.1のうち国のR3予算充当部分)	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少している市内中小事業者の支援策として、キャッシュレス決済を活用した地域経済活性化キャンペーン事業を実施し、市内中小事業者の売上向上とキャッシュレス決済の普及促進に取り組むもの。	R3.4	R4.3	45,428,000	45,428,000	令和3年度内に2回実施したキャンペーンの決済金額の合計は1,398,009,058円で、キャンペーン実施前と比べ平均して約4倍となった。	キャンペーン実施により、キャッシュレス決済による消費喚起を後押しし、コロナ禍で売上が減少している中小事業者の売上向上とキャッシュレス決済の普及を促進することができた。
合計					441,004,922	179,246,000		